

「候補地・実施時期選定の確認書」の個別表

令和2年6月12日に送付いたしました，第二回書面審議のご回答につきまして，下記のとおりです。

設問 1 上大津地区全体の適正配置の方針について

第6回検討委員会で提示された3案について，ふさわしいと思うものを一つ選んで下さい。

(ア) 土浦第五中学校隣接
 (イ) 土浦第五中学校付近
 (ウ) 上大津東小学校

※委員名は順不同です。

委員名	回答	意見等
A	(ア) 五中隣接	<ul style="list-style-type: none"> ・土浦第五中学校隣接であれば，土浦第五中学校とグラウンド，体育館も一緒に使用することにより，経費が削減になると思います。また，土浦第五中学校に隣接して建てることにより，裏の方であれば，土浦第五中学校生徒の通学道路が明るくなり，防犯になり良い面もあります。 ・土浦第五中学校隣接であれば，中学生とも交流ができて，入学したばかりのギャップもできにくくなると思います。場所的にも平等な場所であると思います。
B	(ア) 五中隣接	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を考えると隣接が望ましい。 ・対象学区の中心にあたる。 ・バスのコスト減になる。
C	(ア) 五中隣接	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区の中央に位置するため ・上大津東小学校を中途半端に増築するよりも，新たに使い易い学校を作って貰いたい。

D	(イ) 五中付近	<ul style="list-style-type: none"> ・考察の中に小中一貫教育が実施しやすいとあったが、新小学校だけの小中一貫教育ではなく、神立小学校を含めた小中一貫教育である。 ・プールや体育館の共用は難しいと思う。プールは小学生が入れる水深にする必要がある。また、体育館を含めて学級数を考えると使用に支障をきたすことが考えられる。
E	(イ) 五中付近	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からの距離が2km以上がバス通学になることを考えるとおおつ野地区がその範囲内に入ることによってバス通学の人数を減らすことができる。 <p style="text-align: center;"> } R 2年度 おおつ野地区在住の児童：287人 他地区： 77人 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道354号線を横断する場合、道幅が非常に広く交通量も非常に多いため、大きな危険がある。そこを300人近い児童が通ることを考えると、交通事故のリスクがとても大きい。 <p>そのため、その交差点を渡らなくてもよい場所として土浦第五中学校付近（国道354線の南側）が良い。</p>
F	(イ) 五中付近	<ul style="list-style-type: none"> ・土浦第五中学校と同じ様に、国道354号線の北側に位置した付近で、しかも上大津西小学校を利用できれば更に良い。 ・小中一貫教育の移動を考えると、安全・予算を考えても良い。
G	(イ) 五中付近	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な小中一貫校教育が実現可能である。
H	(イ) 五中付近	<ul style="list-style-type: none"> ・意見なし

I	(ウ) 上大津東	<ul style="list-style-type: none"> ・圧倒的に移転費用の少なさ。 ・交通量の多い国道354号線を横断する必要なし。 ・生徒数の多い上大津東小学校 ・バス通学は上大津西小学校と菅谷小学校の児童だけで済む。 ・実際のところ、土浦第五中学校とのグラウンドやプールの共用は難しいと感じる。 ・工期も短いと思う。
J	(ウ) 上大津東	<ul style="list-style-type: none"> ・意見なし
K	(ウ) 上大津東	<ul style="list-style-type: none"> ・工期が短いこと。 ・安全な通学を考えると、生徒の多い地域に設立した方が良いと考える
L	(ウ) 上大津東	<ul style="list-style-type: none"> ・上大津東小学校の子供たちを移動させるコストを考えると、上大津東小学校を拡大させることが良いと考える。 ・土浦第五中学校隣接で施設の共用は難しいと考える。 ・土浦第五中学校隣接や付近は、小中一貫校としての連携は出来て良いと思うが、神立小学校の保護者の心理としては不公平感を感じると考える。

設問 2 適正配置統合時期について

統合時期について、適当なものを一つ選んで下さい。

(ア). 令和6年（協議開始時の上大津東小学校における要増築予想年度）
 (イ). 令和7年4月
 (ウ). 令和8年4月
 (エ). 令和9年4月（現段階での上大津東小学校における要増築予想年度）
 (オ). その他

※委員名は順不同です。

委員名	回答	意見等
A	(ア) 令和6年	可能であれば。早い方が良いに越したことはないと思う。
B	(ア) 令和6年	予定通り令和6年4月の開校がベストであると考えます。早ければ早いほど良いと思いますが、先に延ばすことは地域の人々のためにもいいことではありません。
C	(ア) 令和6年	当初の計画通り。 ・上大津東小学校は令和6年4月に統合するという計画の基、老朽化した校舎等の施設を使用して教育活動を行っている。 普通教室用のプレハブが2棟、特別教室のプレハブが1棟あり、酷暑・極寒の中で授業を進めなければならない状態である。よって、児童には十分な教育活動を行えるように当初の計画通り、令和6年4月の開校が最も望ましいと考える。 教職員にとっても、職員室やトイレ等の環境に大きな課題がある。
D	(ア) 令和6年	・上大津東小学校の校舎・校庭が満杯の状況であり、増築しなければならぬので早い方が良い。
E	(ア) 令和6年	・早い方が良い。
F	(ア) 令和6年	・何をきっかけに、予想を上回る速度でおおつ野地区の人口が増加するかもしれない。

G	(イ) 令和7年	<ul style="list-style-type: none"> ・上大津東小学校の児童数によるが、令和6年度はスケジュール的に厳しいのではないかと。 ・令和6年度だと、上大津西小学校出身の菅谷小学校2年生は、6年生時にまた統合となり、3回学校が変わるため、令和6年は避けて欲しい。
H	(ウ) 令和8年	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針、整備方針の決定後、土地買収区域の不動産鑑定評価後土地所有者への説明、理解等を得、また農業提供地域からの除外認可、代替地、議会承認等から市有地になるまで、早くて1年半要すると考えられる。 ・用地決定後基本設計及び実施設計で地元説明、議会説明等で1年半。 ・入札議会承認得て校舎整備工事完了まで2年。 ・開校は上大津東小増築予定年度（令和9年4月）前にすべきと考える。
I	(エ) 令和9年	<ul style="list-style-type: none"> ・工期は短い方が良いが、しっかりした建物で長期にわたって使用できるように建設して欲しい。 ・環境や使い勝手に配慮して欲しいのである程度の工期は必要と考える。
J	(オ) それ以外	<ul style="list-style-type: none"> ・意見なし。
K	(オ) それ以外	<ul style="list-style-type: none"> ・市の予算によると思う。早い方が当然良いが、工事費の支出が可能な時期。

設問 3 上大津地区適正配置実施計画＜最終提言＞（案）について

「上大津地区適正配置実施計画＜最終提言＞（案）」の内容について、修正・追加・削除等すべき点はありますか。

委員名	回答	意見等
A	無	
B	無	
C	無	
D	有	候補地案にバス乗車対象の予想人数を記載して欲しい。
E	無	
F	無	
G	無	
H	無	
I		
J	無	
K	無	
L	無	
M	無	

設問 4 その他のご意見

委員名	回答	意見等
A	無	
B	有	今は中国人が農地を借り、かなりの畑は自由にできなくなっているため、土地の買収は早くした方が良い。
C	有	<p>去年の上大津西小学校の入学式に井坂教育長が挨拶で、新一年生の前で「あなたたちは2回学校が変わります」と言っていました。井坂教育長が入学式で言っていたように、5年間できちんと開校はすべきであると考えます。</p> <p>上大津西小学校、上大津東小学校、菅谷小学校の児童、PTA保護者は、五年後の開校を待ち望んでおります。</p>
D	有	以前は、統合してたくさんの友達と学習することが良いと考えていたが、新型コロナウイルス感染症が出てきて、統合することは、バスを使用したり、教室が「密」になったりすることだと考えさせられた。今後も感染症等が出る可能性もあるので、統合する事の功罪について、もう一度地域住民とよく話し合い、納得の上で統合する必要があると考える。
E	無	
F	無	
G	無	
H	無	-
I	無	
J		
K	有	適正配置とは別問題であるが、通学路に歩道が無く危険な場所が存在する。
L	無	
M	有	土地買収等では諸問題が発生する可能性が多分にありますので、開発年度は余裕を持ったスケジュールを組み、土地買収後、新設校の具体的計画を公表すべきと考える。